



令和2年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【光が丘地区】

令和3年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 光が丘地区自治会連合会	光が丘地区「新型コロナウイルス感染症拡大に備えた自治会における感染症対策等推進事業」	新型コロナウイルス感染症について、今後、第二波・第三波の流行が危惧される中、日常生活における「新しい生活様式」の実践が強く求められている。これは地域のコミュニティ活動の中核を担う自治会活動においても例外ではなく、コロナ禍で人と人の繋がりの希薄化が懸念される状況において、ウィズコロナ、アフターコロナ環境下でも安心して自治会活動を行える備えが急務となっている。	自治会活動における感染症対策に資する物品の用意や地域住民への「新しい生活様式」等の周知・啓発を通じて、今後懸念される第二波・第三波に備えた感染拡大の防止を図るとともに、「新しい生活様式」を踏まえた自治会活動の継続・充実を図ることを目的とする。	光が丘地区自治会連合会及び地区内29自治会に、自治会活動における「新しい生活様式」の導入に必要な感染症対策物品の配備を行う。 ・コロナ禍における防災対策に関するチラシ・ポスターを作成し、地域住民への周知・啓発を行う。	R2.9.3	880,000	880,000	880,000
2 こども未来ワールドin光が丘実行委員会	こども未来ワールドin光が丘	光が丘地区では地域活動の担い手不足が深刻なことから、中高生が地域活動へ参加できる仕組みの構築を進めてきた。現在も地域の事業やイベントに数多くの中高生がボランティアとして参加している。 しかし、担い手の高齢化が進んでいることから、次世代にどのように地域の伝統等を繋いでいくかが課題となっており、地域の中で若者世代が自主的に考え、行動する機会の提供が求められている。	小学生、中学生の子どもたちに地域の中で事業を企画運営する機会を提供し、大人は事業実現のためのサポートに徹する。こども実行委員会での活動を通して、自立性、協調性、考える力、新しいことを生み出す力を養うとともに、事業実施による達成感や反省を体感することで大きく成長することと考える。 地域の高齢化が進み、地域活動の担い手が不足する中、子どもたちを地域で育て、将来的に地域活動の担い手になれるよう、子どもたちの成長を目的としている。	これまでの4回のこども未来ワールドと同様に、若者世代を含めた現役世代を中心に大人実行委員会を立ち上げ、企画運営に携わる小学校3年生以上のこども実行委員を募集する。応募してくれた小学生でこども実行委員会を立ち上げ、本年度も事業の企画・運営を行っていく。 しかしながら、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまでのように不特定多数の方が来場されるイベント形式での実施は難しく、会場の確保もできないことから、こども実行委員が主体となって、こども未来ワールドPR動画を作成し、地域に「元気」を発信する。 動画の内容はこども実行委員会で協議し作成することとなるが、高校生によるバンド演奏や過去のイベントの様子もプログラムに入れる予定である。(動画撮影は主に11/29(日)に行う)	R2.10.16	300,000	150,000	150,000
						1,180,000	1,030,000	1,030,000